



Shikata Town  
No. 131

7  
2016  
(平成28年)

# 志賀中学校 全員で 勝ち取った 団体優勝

## INDEX

羽咋郡市中学校相撲大会	2-3
志賀町優良特産品(能登すいか)	4
文芸教室《夏の増刊号》	5
参議院議員通常選挙	6-7
国民健康保険加入の皆さん	8-9

第55回

### 羽咋郡市 中学校 相撲大会



# 羽咋郡市 中学校 相撲大会



## 仲間に送る 熱いエール

# 志賀中学校 2年ぶりに団体優勝

5/31(火)

志賀中 (岩本 晶貴、谷口 陽治、今川 大宙、前田 直耶、川田 隼也、橋本 颯太、松井 僚祐)  
個人戦 準優勝：岩本 晶貴 3位 谷口 陽治



55回を迎えた伝統の戦い・羽咋郡市中学校相撲大会。羽咋郡市の5中学校(羽咋中、邑知中、宝達中、志賀中、富来中)が羽咋市の唐戸山相撲場に集結し、熱戦を繰り広げた。予選は志賀中がトップ通過。富来中は予選リーグ4位で勝ち進み、志賀中と富来中が、決勝トーナメントで対戦。志賀中が全勝し、敗れた富来中の3位が決定した。一方で邑知中に勝利した羽咋中との決勝戦が今年も実現。昨年、志賀中は6連覇を懸けた決勝戦で、羽咋中に敗れ、その悔しさをバネに一人一人が練習を重ねてきた。最終決戦、生徒全員で声がかかるほどの

熱い応援を選手に送り、志賀中が4対1で羽咋中に勝ち、2年ぶりに団体優勝した。主将の谷口陽治選手は、「優勝を決めた瞬間、悔しさが一気に吹き飛んだ。みんなの応援が力になった」と感謝の言葉述べ、福本校長を胸上げして優勝を喜んだ。個人戦では、志賀中の岩本晶貴君と谷口君が準決勝で対決し、岩本君が決勝へ進出。惜しくも優勝は逃したが、岩本君が準優勝、谷口君が3位に輝いた。どの学校も、全校生徒が心を一つにし、日頃の練習の成果を発揮した。その姿に感動し、今後もこの伝統の戦いが続くことを、多くの人が願うに違いない。





**富来中学校も健闘！団体3位！** 富来中(太磨 優人、亀田 凌汰、橋場 洸介、干場 龍乃、浅野 知斗、川 遵一郎、端谷 汐音)





一生懸命作る  
能登すいか。

ベテラン農家が



紹介する人 J A 西瓜部会長  
おおの のぶかつ (71歳)  
大野 信勝さん

志賀開拓パイロットのスイカ畑にて (安津見)

大野さん 志賀農協には、現在14人の西瓜部会員がいます。皆さんベテラン農家ばかり。長年の経験を生かし、美味しいスイカを作ろうと、日々頑張っています。今日は、会員が集まり、各畑を周って生育状況を確認しました。このように定期的に集まり、その年の出荷日を決めたり、専門家のアドバイスを受けてたりしています。スイカ畑は、それぞれ上棚・大島・西山・安津見・小浦にあり、品種は「星きらら」、「祭ばやし11」、「縞無双HL」を主体に、大玉すいかを作っています。

まず、3月上旬にスイカの苗作りを始めます。小さな苗を買って鉢上げから苗作りする人や、種から苗を作る人もいます。病気に弱いため、病気に強いカボチャを台木にし、スイカを接ぎ木してハウスで育てます。苗ができる頃、圃場を作り、4月下旬から5月にかけて畑に植えます。会員の高齢化も進み、広大な畑での作業は大変ですが、水や肥料をやったり、消毒したり、一つの実に栄養を集中させるため、不要なつるや実を摘み取り、実のなる位置や個数を徹底管理します。スイカに実をつけるため欠かせない授粉には、蜂を使います。

まず。一定期間レンタルするのですが、近年、蜂が激減し、レンタル料金も高騰しています。しかし、着果率が高い早朝に蜂は活動するので、うまく授粉してくれます。このような手間暇をかけて、甘い高品質のスイカができます。今年も、7月上旬から8月上旬まで出荷予定です。西山集荷場で、大きさ・形・空洞の有無を調べ、格付けして箱詰めします。富山・金沢・京都などに出荷し、道の駅ころ柿の里旬菜館でも販売します。能登里山の良好な土で、丹精込めて作ったスイカです。地元の方にも食べていただけると嬉しいです。



砂地と赤土で作られた志賀町産のスイカは、シャキシャキとした食感とたっぷりの果汁、高い糖度の三拍子がそろった逸品。

販売期間 / 7月上旬～8月上旬 価格 / 時価

山の幸